

株式会社日本保育サービス



リユース品を希望する人に提供

日本保育サービスが運営する全国約200の保育園では“家族みんなの笑顔のために”をコンセプトに、保護者からベビー用品・衣料品などの子育て関連用品の寄付を受け付けています。グループ会社が運営する子育て支援プラットフォーム「コドメル」を通じて、クリーニングしたりユース品を希望する人に提供している活動です。この取り組みが高く評価され「BabyTech® Awards 2022」の保護者支援サービス部門で大賞に選ばれました。

子育て支援プラットフォーム「コドメル」
<https://codomel.com/>



まだ着られる子ども服、まだたくさん遊べるおもちゃなどの子育て用品を、次の世代に届けています

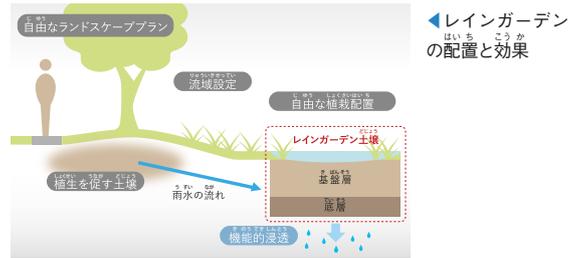


株式会社フジタ



恵みの雨を受け止める土壌技術

近年、コンクリートやアスファルトといった不透水層の増加や気候変動の影響により、水害や環境負荷のリスクが増しています。当社では、雨水の浸透と保水を両立する土壌構築の技術「レインガーデン」を建設に取り入れています。レインガーデン土壌は雨水を受け止めるため、公共下水道への負荷が低減し、水害発生を抑制します。また、雨水を適度に保水できるため植栽の生育度が高く、加えて土壌内の水分蒸発（気化熱）によりヒートアイランド抑制も期待できます。



石炭火力発電所から発生する石炭灰や浄水場発生土などのリサイクル人工土を用いています



パルシステム生活協同組合連合会



お米を食べて食料自給率を向上

お米は輸入しなくても、日本国内で100%自給できる食べ物です。しかし、お米の消費量は年々減少してきて、このままでは生産者が米づくりをあきらめ、お米が食べられなくなってしまうかもしれません。パルシステムは、消費者にお米をもっと食べてもらうための情報発信や、お米を使った商品の開発、飼料用米（家畜のエサ）の活用、予約登録米（*）を広げる取り組みを、「お米で超えてく」と名付けて進めています。



パルシステム組合員、生産者、メーカー、パルシステムグループ全体で取り組みます
 *予約登録米：組合員が利用したい産地に予約登録し、新米収穫以降1年間定期的に届ける制度。この制度ができたのは、1993年の冷害による米不足がきっかけで、収穫できた米が少ないときでも組合員は優先的にお米を購入でき、生産者もお米の購入が約束されていることで、化学合成農薬や化学肥料使用を抑えるなど、環境にやさしい環境保全型農業に安心して取り組める。